

福岡 熊本 佐賀 長崎 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

下部構造物に影響を及ぼさない防護柵用基礎ブロック

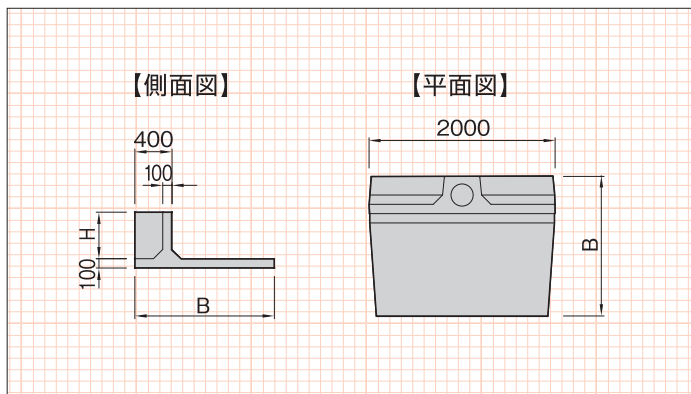


「Gベース」は、たわみ性防護柵の代表であるガードレール等の基礎ブロックとして開発された製品です。品質・工期・安全性・施工性・経済性・メンテナンスなどあらゆる面で、現場打ち工法に比べて多くの長所を持った画期的な防護柵用基礎ブロックです。

車両の衝突荷重を考慮し、金沢大学の指導の下、安定・構造試験を行い、その安全が確認されています。

また、たわみ性防護柵C種～SC種に対応するとともに、平成16年度制定の『車両用防護柵標準仕様・同解説』『防護柵の設置基準・同解説』に準拠しています。

■ 寸法図



■ 寸法表

タイプ	H (mm)	防護柵の種別	B (mm)	参考重量 (kg)
擁壁直上に設置する場合	400	B,C種	1500	1015
	400	A種	1800	1170
	500	B,C種	1500	1095
	500	A種	1800	1260
	600	B,C種	1500	1175
	600	A種	1800	1340
擁壁直上に設置しない場合	400	B,C種	1000	795
	400	A種	1500	1040
	500	B,C種	1000	875
	500	A種	1500	1125
	600	B,C種	1000	955
	600	A種	1500	1205

特長

費用大幅削減

下部構造物の直上に設置ができます。

■下部構造物の上部に緩衝材を敷設し、その上に直接設置が可能のため、従来工法に比べ余幅(350mm程度)の用地を必要としません。

- ①必要用地が小さくなることにより、用地費用が大幅に削減できます。
- ②壁面積(△h×延長)と盛土量(350×壁面高×延長)が削減できます。

様々な下部構造物に対応

様々な下部構造物に使用できます。

■補強土壁、L型擁壁、軽量盛土、ブロック積等様々な下部構造物に影響を及ぼさず使用できます。各種別の衝突荷重に対応できるように規格化されています。

曲線部にも対応

緊結一体化し、曲線部も対応できます。

■製品相互をハイテンションボルトで緊結一体化し、1スパンを10mとしています。製品相互間は、緊結で与えられた緊張力により一体化して、衝突荷重に対して安定機能を確認します。また曲り半径R=15m以上に対応できます。

急勾配にも対応

急な縦断勾配に設置できます。

■急な道路勾配にあわせて、防護柵の支部分は垂直に設置できます。縦断勾配15%まで対応が可能です。

側溝設置可能

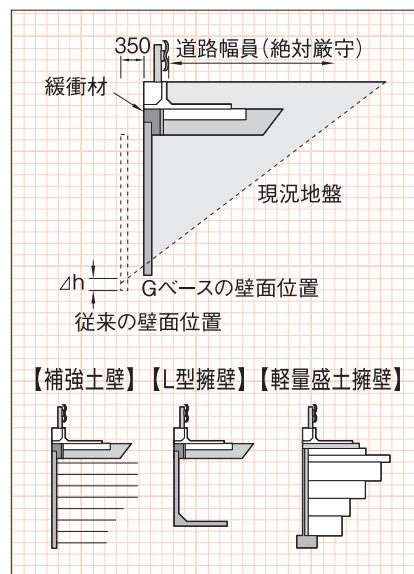
側溝を抱きかかえた計画に対応可能です。

■規格高H500、H600を使用する事によりGベース底版上に側溝を設置できます。

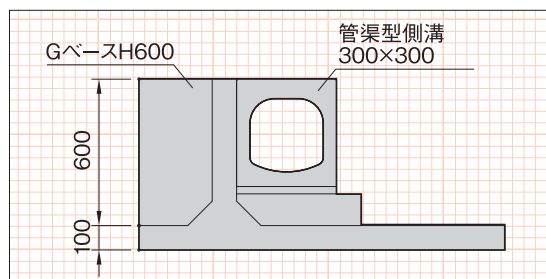
照明等の設置可

各種安全施設が設置できます。

■照明・防風柵・道路標識等の安全施設が容易に設置できます。



縦断勾配9%の設置例



■本体据付歩掛り

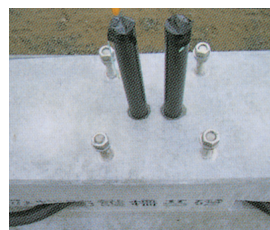
(10m当り)

名称	規格	単位	数量
土木一般世話役		人	0.15
ブロック工		人	0.15
普通作業員		人	0.45
クレーン賃料	10t吊り	日	0.15
諸雑費	16%以下	式	1

照明配管写真(全景)



照明配管写真(近景)



標識設置写真



照明設置写真



防風柵写真(全景)



防風柵写真(近景)

